

2、住民基本台帳カードについて

福沢 飯田市では人口10万5千人に対して現在住基カードの発行枚数はどのくらいになっているか。

市 平成23年1月末で2540枚、2,42%となっている。長野県全体では3%と比べて低い。

福沢 飯田市の住基カードの使い道はどうか

市 写真付きのものは、身分証明書として、印鑑証明、国税の申請に使用できる

福沢 図書カード、地域通貨、ポイントカードなど使っているところ、さらに上伊那では住民票や印鑑証明書が住基カードを利用してコンビニでの使取得ができるようになったが飯田市ではどうか

市 住基カードの普及拡大については平成20年度の情報化基本計画でも記載されている。コンビニでのサービスについては考えていく時期だと思う

3、自治体クラウドについて

福沢 飯田市として今の時点で、自治体クラウドについてどう考えるか

市 実証実験など情報収集に努める。今後研究していく。

福沢 行政コストの大幅な削減につながるのではないか

市 民間企業で経費の減少は聞いている。また人件費が安くなることも考えられる

福沢 自治体クラウドを推進するうえで住民データの取り扱いで問題になることは何か

市 住民データのセキュリティ対策が必要。総務省で検討し、課題が明らかになっていく。

4、低炭素社会基本条例について

福沢 昨年3月低炭素基本条例について質問したが、現在も条例制定の23年度中の方針は変わらないか

市 国の温暖化対策基本法が廃案となり、条例策定が進められなかった。来年度は、第3次環境プランなどの改訂の年なのでそのなかでこの条例も検討していきたい。

福沢 来年度は制定できないということで受け止める。低炭素社会基金やエコポイント制度も条例を背景に検討するとあるが、これらはどうするか

市 条例と同じく環境プランの中で検討していきたい。

福沢 環境モデル都市を標榜する飯田市として、早急にこの条例が制定できるよう努力されたい

